

なければならぬ夫れにも拘らず従来國家は海運經營者に對しては永年に亘り莫大なる物質的補助を加へながら吾人海員の爲めに何等寸毫の施設を講じて居ないと言ふことを顧みるときに如何に吾人が今日まで此種の主張の上に眠つたことが重大なる損失であつたかを辭ひずには居られないのである今にして覺めなければ到底吾人の運命は永遠に浮ぶ瀬がないのである、私共は今現に私共共同の福利の爲め而已ならず私共の後を繼ぐべき新進の同僚の爲めに畢生の努力を捧げて光輝ある前途を開拓しなければならぬ

然るに私共は之を實行するに先だち其質と力に於て完全なる充實を期しなければならぬ第一に其本分を守ると謂ふ觀念の上に歐米人に劣らざる確信を有たなければならぬ次に躁急の觀念は何處までも謹まなければならぬ其上に未だ團體的節制に缺ける幾多の點がありはしないかと氣遣はるゝのである、最後に團體として何等の資力を備へて居ないことが最も大なる缺陷である隨て今日歐米に於けるが如き労働運動を其儘の生き寫しとして正々堂々の陣容を以て労働運動を實行すべき準備が整つて居ないと謂はれても仕方が無いのである

自大正十年五月三十一日 收支計算表

収入ノ部	支出ノ部
加 盟 金 251,000	消 耗 品 費 32,650
組 合 費 1,134,000	出 張 旅 費 6,990
雜 收 入 51,300	事 務 所 公 費 62,970
經常費寄附金 30,000	通 信 運 搬 費 62,970
組合基本寄附金 10,000	雜 臨 時 費 6,000
借 入 金 3,000,000	備 品 什 器 費 15,900
	給 與 2,131,500
	(經常費) 小 計 2,536,720
	振替貯蓄基本金 10,000
	三菱銀行預金 1,841,000
	現金手許有高 88,580
合 計 3,376,300	合 計 3,376,300

自大正十年五月卅一日 出金者氏名

經常費借入金	經常費寄附金	組合基本寄附金	加 盟 會 及 組 合 費	安 藝 縣
星野 下野 山口 國治	吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野
吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野
吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野
吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野	吉野 吉野 吉野 吉野



る實に遺憾至極である。

私共は海上労働者前途を開拓する爲めには寸時もぐすくとして居られぬ然れども團體としての實力なく又準備なき行動は失敗の原因である故に準備なく進むことは大に考へものである、大なる目的を達せんとするには大なる覺悟と大なる準備が必要である、私共は順序として先づ其實力の充實と準備に着手しなければならぬ。

私は此大切なる準備の時機に於て諸君と共に其第一歩を進むべく一切の關係事業と手を切り爰に諸君の懐に入り而して平素胸中に燃へて居る「諸君の先輩の好意に對する感謝」の熱を傳へんとする次第であります幸に諸君の共鳴を得ば終生の光榮とする處であります